



生涯学習センターだより

2024. 8. 28 (水) 2024 年度第 1 号 (8 月号、通巻 40 号)

発行: 秋田県生涯学習センター

ご挨拶

所長 松岡 正利



はじめに、7月の豪雨で被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げます。また、復興に尽力されている皆様に深く敬意を表しますとともに、一日も早い復興をお祈りしております。

さて、当センターは生涯学習及び社会教育推進の中核機関として、県民の生涯にわたる学習活動を支援することを運営の基本方針の一つとしております。

人生 100 年時代とも言われる現代社会において、人生を豊かに充実して過ごすためには、生涯にわたって常に学び成長し続けることが大切であり、そのためには学ぶ姿勢を持ち続けることが必要です。生涯学習によってさらに人間的に成長する機会を多く得ることができるようになりますし、新たな視点を獲得し、幅広い見方・考え方を持って、人生の可能性を広げ、さらに充実した人生を送ることができると思います。

当センターでは、県民の皆様が広く参加できる「あきたスマートカレッジ」を開講しており「地域づくり」「現代的取組」「教養」の3分野の講座を設けております。詳細につきましては当センターのWebページをご覧くださいと思います。新しい学びの機会としてご活用いただければ幸いであり、皆様のご参加を心よりお待ちしております。



あきたスマートカレッジ 9、10月の予定

会場 : 秋田県生涯学習センター

【障害者の生涯学習講座】(無料)[10:00 ~ 11:30]

9月14日(土) ○みんなでヨガ

[講師] 介護福祉士が伝える健康ヨガ
ヨガインストラクター 佐藤 歩 氏

10月12日(土) ○みんなの美術鑑賞 みんなで美術鑑賞
～対話で広げて深める美術鑑賞～

[講師] 東北芸術工科大学
非常勤講師 黒木 健 氏

【防災講座】(無料)[13:30 ~ 15:00]

9月14日(土) ○新しい防災の考え方と

避難行動支援②

[講師] 日本赤十字秋田短期大学
講師 及川 真一 氏

10月12日(土) ○秋田県の雪氷災害から考える
防災・減災
～県内の気象データから見た
雪氷災害の特徴～

[講師] 秋田大学教育文化学部
准教授 本谷 研 氏

【東大史料編纂所協力講座】(有料)[10:00 ~ 11:30]

9月7日(土) ○南北朝の動乱と戦わない武士たち

[講師] 東京大学史料編纂所
准教授 堀川 康史 氏

10月5日(土) ○戦国大名島津氏の戦争

[講師] 東京大学史料編纂所
助教 畑山 周平 氏

10月19日(土) ○後方から見た戊辰戦争
～明治新政府の兵站と

「御威光」～

[講師] 東京大学史料編纂所
助教 水上たかね 氏

【北条常久特別企画講座】(有料)[10:00 ~ 11:30]

[講師] 秋田県生涯学習センター

シニアコーディネーター・文学博士
北条 常久

9月28日(土) ○金子洋文「白梅記」(戯曲)

10月26日(土) ○伊藤永之介「万宝山」

熟議ファシリテーター講座 ～「熟議」をつくろう！～

持続可能な地域づくりや課題解決に向け、「熟慮×議論」により連携と協働を形成・促進する話し合いの手法「熟議」を学ぶ講座を昨年に引き続き開講しました。全4回の受講を通して、当センターの手法を基とする自分なりの「熟議」パッケージを完成させていく講座に、今年度は9名のエントリーがありました。

【第1回】(6/15)参加者は、生涯学習センターが実践を通して形づくってきた「熟議」を体験しました。何かを決定する会議のような堅苦しさがなく、テーマについて自由闊達な意見交換をする中で、他者の様々な考え方に触れ、自分の考えを深め、共感し、テーマについての自分事意識が醸成されていく体験を通して、ファシリテーターが果たすべき役割、場の雰囲気のつくり方、組立て方等を学びました。



第1回講座「熟議における導入」より

【第2回】(7/6)第1回講座で体験した「熟議」のスライドを参考に、「熟議」の当事者意識をもつ(自分事として考える)ようになるためのテーマ設定、参加しやすい雰囲気づくりとしてのアイスブレイク、話し合いの方向性を理解するための資料提示の工夫等について学びました。後半では、自分なりの視点でオリジナル「熟議」を構想し、展開する方法を考え、スライド作成に取り組みました。

【第3回】(7/20)「熟議」のまとめ方を、体験を通して学びました。講師は、結論を導いたり、議決したりしないのが「熟議」であり、参加者が意識・思考の方向性を共有することが大事であると述べました。後半では、オリジナル「熟議」の完成に向けて、参加者目線に立った資料の提示を考えたり、パソコンでスライドを作成したりと、熱心に取り組みました。

【第4回】(8/3)講座の前半は、参加者各自で作成したオリジナル「熟議」の発表にむけて、仕上げる作業を行いました。その後、それぞれの受講者が作成したスライドを使ってオリジナル「熟議」について発表し、学習成果を披露しました。各自の立場(所属団体・自治会等)で話し合いたいテーマを設定して作成されたスライドには随所に工夫が見られ、すぐに活用できるほど仕上がっていました。最後に、講師から「ファシリテーションは経験が大事であり、今回の経験を生かして何度でも挑戦してほしい」と激励があり、全4回の講座は終了しました。

トピックス

「障害者の生涯学習」のための活動スペース

「ツドゥベース」始動！！

障害のある方の活動や障害者の生涯学習について学んだり、障害のある方と一緒に活動したりすることを目的とした活動を支援するため、障害者スポーツスペースと地下ホールを「ツドゥベース」とし、4月から利用をスタートしました。障害の有無に関わらず、この場所につどい、楽しい学びの基地(ベース)として利用してほしいと思っています。活動内容は、スポーツ、研修講座などに加え、ご相談いただければその他の活動も可能ですので、是非ご利用ください。なお、利用は無料ですが、前日までの予約が必要となります。道具の貸し出しもしておりますので、お気軽にご相談ください。

【活用例】



ボッチャ、卓球パレーなど



制作活動など



研修・講座など

※利用申請書はセンター1階案内カウンターにあります。また、Webサイトからダウンロードも可能です。